

県設備設計事務所協会研修会

仕様書改訂など解説

県設備設計事務所協会 力(鹿)鹿児島支店では毎年恒例(小島真史会長)は8月31日、鹿児島市の九州電



た。会員企業社員ら約110人が出席、日頃の設備設計・監理業務に生かそうと勉強した。

研修を業務に生かそうと、上重重征県土木部建築課設備室長は「皆さまは九州電力(株)鹿児島支店

文化社が救急基礎講習会

心肺蘇生の実地訓練等

(株)文化社(土屋美社)は8月31日、鹿児島



実地訓練を受ける参加者。鹿児島市の同社で、臍マッサーなど人命救急に必要な応急手当の知識・処置法などを学んだ。

互いに連携し合い、業務を遂行していただきたい」と呼び掛けた。続いて、研修を開始。県設備室の吉丸秀雄工事監査監事、小園定夫技術補佐兼機械設備係長、白石英夫技術主幹兼電気係長、窪敏幸主任工事監査員兼設備専門員、牛ノ

県建設業青年部会種子島支部
集団献血で社会貢献

県建設業青年部会種子島支部(興陽一郎支部長)は8月25日、西之表市の保健センターで集団献血によるボランティア活動



この活動は、社会貢献の一環として毎年3月と8月の年2回行われるもの。同日は、興支部長を

感謝状等を手写しに納まる参加者。西之表市の種子島建設

東建設工業ボランティア

清掃作業に汗流す

東建設工業(株)(東正行社長、西之表市)は8月20日、西之表市の市道石堂今年川線沿いで路肩の草払いやごみ拾いなどのボランティア活動を実施。社員約20人が参加し、清掃作業に終日汗を流した。当日は、午前8時に同社のアスファルトプラント施設に集合。作業を前

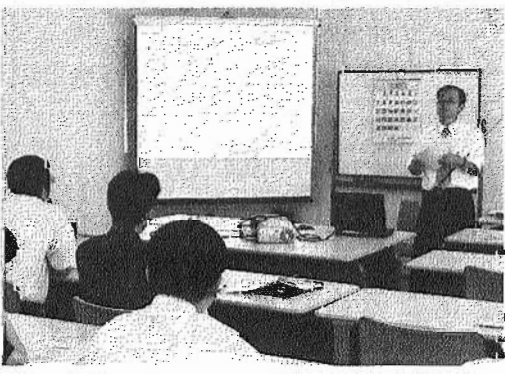


路肩の草払いを行う参加者。西之表市の現

環境経営セミナー

環境管理 仕組み等学ぶ

NPO・エコサポートT.G.A.L.(久留正成理事長)は8月31日、鹿児島市の市社会福祉協議会ボランティアセンターで「環境管理事業所の効果的な導入方法」と題した環境経営セミナーを開き、参加者は鹿児島市環境管



氏、国生光氏、假屋寛喜氏の3人を講師に招き、心肺蘇生法や骨折等の応急処置法、止血法、熱中症の際の応急処置法などをテキストに基づき講習が行われた。また、心肺蘇生法の実技講習では、講師の指導のもと、人形を用いて参加者全員が実地訓練を受けた。



石井会長

日本の景観を壊してきたのは土木か、それとも建築か。建設コンサルタント協会(建コン協)の石井弓夫会長、日本建築家協会(JIA)の村尾成文・元会長という土木、建築をそれぞれ代表す



村尾元会長

土木、建築で衝突

両者が8月30日のセミナーで、景観に対する土木と建築の責任をめぐり、真正面から衝突した。「建築は既存の景観を破壊の責任をめぐり、土木は景観を壊してきただけ」と、両者は「良好な景観を形成していくためには、土木・建築の枠を超えた連携が必要」との認識で一致。12月までに景観形成に関する行政への提言を共同でまとめることと合意した。

来月20日、福岡市で

J.W.T.C

日本木質トラス協議会(J.W.T.C)は10月20日午後1時30分から、福岡市の福岡建設会館で「エンジニアードウッドセミナー」を開く。カナダ林産業審議会SPEグループ、ウェアハウザージャパン(トラスジョイスト部門)の共催、カナダ領事館(福岡)の後援。参加費は3000円で、定員は30人。セミナーでは、木造建築物先進国である北米でポピュラーに使用されているネイルプレットトラス、I型ビームを中心としたエンジニアードウッドに焦点を当て、さまざま

お手軽で便利な購読料のお支払いは自動振替で

鹿児島建設新聞 099-227-5100へ